

# カシオグループの社会貢献

健全で心豊かな社会づくりを目指して、さまざまな社会貢献活動を行っています。取り組みの一部をご紹介します。

## 地域への貢献



## 教育・学術への貢献



## 地域への貢献

地域社会の一員として人々とコミュニケーションを図り、地域に根ざした活動に取り組んでいます。

### A. さくらんぼマラソンに協賛

山形カシオは企業活動だけでなく、地元・東根市での活動を通じて地域により愛される企業を目指して「果樹王国ひがしね さくらんぼマラソン大会」に、2004年より協賛しています。

2011年の大会では、協賛企業として賞品提供や販売ブースの出店を行い、従業員約80名がランナーや応援団、沿道整理ボランティアとして参加しました。

### B. 工場見学の受け入れ

甲府カシオでは、小学校などの依頼を受けて、工場見学の受け入れを行っています。電卓の分解・組み立て体験によるモノづくりの学習や、地球環境問題についての授業をしています。

カシオ計算機の八王子技術センターでも、地元の小学校を中心に、施設見学の受け入れと社内での授業を行っています。

### C. タイの洪水被害者支援

2010年秋にタイで大規模な洪水が発生し、広い範囲が被害を受けました。カシオタイでは、従業員と会社が寄付金を出し合い、また食料やろうそくなどの支援物資を被害地域の

知事に届けました。救援物資の配布にはカシオタイの従業員も参加して、被害にあった地域住民に直接支援物資を手渡しました。

### D. 福祉作業所に再資源化のための分別作業を委託

カシオビジネスサービスでは、製品や販促物を再資源化のために分解し、材料ごとに分別する作業を、社会福祉法人 友愛学園が運営する青梅福祉作業所(東京都)と、特定非営利活

動法人ポプリが運営する就労継続支援事業所(静岡県)に委託しています。知的障害や身体障害をもつ方々の自立を支援しながら、資源のリサイクル活動をしています。

## 教育・学術への貢献

独自のノウハウや経営資源を活かして、社会の知的進歩に役立つことを目指した活動を展開しています。

### E. 高精度計算サービスの提供

カシオ計算機は、計算機メーカーとして培ってきたノウハウを社会で広く活用していただくため、さまざまな計算ができるWebサイト「keisan」を無償で提供しています。こよみ計算

や単位換算などの生活に役立つ計算から本格的な数学計算まで、600以上のライブラリをもち、職場や家庭で幅広く活用されています。

### F. カシオ科学振興財団への支援

カシオグループは「カシオ科学振興財団」への支援活動を通じて、科学技術の発展に貢献しています。

カシオ科学  
振興財団

カシオ科学振興財団は、カシオ計算機の創立メンバーである梶尾茂・前会長と梶尾四兄弟がわが国の学術研究の発展と振興に寄与するため、1982年に設立した財団です。「特に萌芽的な段階にある先駆的かつ独創的研究」を対象に、研究助成活動を行っています。今回の震災で大きな被害を受けた東北地方の三大学には、研究活動の回復を支援するため、合計1,000万円を寄付しました。

## 東日本大震災について

カシオグループは、東日本大震災による被災者の救済と被災地の復興に貢献するため、救援活動資金として総額5,500万円を寄付するとともに、従業員の寄付に会社が同額以上を拠出するマッチングギフトを実施。海外も含めた従業員からの募金総額約1,057万円とカシオ計算機の拠出額2,200万円の合計約3,257万円を寄付しました。また、今回の震災によって両親を亡くした震災孤

児を支援するため、継続的に寄付を行います。2011年度500万円、以降毎年200万円を10年間継続して寄付し、総額2,500万円を拠出します。以上により、カシオグループの拠出する支援金総額は、合わせて1億200万円となります。その他、置時計・掛時計やGPS機能付デジタルカメラ、電卓などの当社製品を寄贈しました。